

## 第9回経済常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	平成26年 9月24日(水曜) 午前9時30分 開会		
	休憩 10:31-10:40 11:30-11:31		
	11:59-13:15 13:47-13:47		
	午後1時55分 閉会		
会議場所	役場3階 第1委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 常通 直人	委 員 正村紀美子	
	副委員長 齋藤 幸子		
	委 員 小椋 孝雄		
	委 員 柴田 正博		
欠席委員 氏 名			
会議に出席 した説明員	農林課長	手島 旭	
	農産係長	我妻 修一	
	建設都市整備課長	高橋 将英	
	建設都市整備課長補佐	佐藤 季之	
	計画係	渡辺 浩二	
	水道課長	白木 雅博	
	水道課長補佐	西川 一浩	
	水道課長補佐	清水あけみ	
事務局職員		事務局次長 剣持和裕	書記 大石真澄
『会議に付した事件と会議結果など』			
<p>1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明。</p> <p>2 議 件 (1) 調査事項 ア 農作物有害鳥獣駆除事業について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span> 担当課より説明の後、質疑を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柴田委員：清水町の施設はどのようなものか。</li> <li>・手島課長：公共ベースの施設ではなく、完全に民間ベースの施設であり、残滓の受け入れも所有者のネットワークで受け入れを行っている。</li> <li>・正村委員：整備のための具体的予定地は。また財源の見通しは。</li> </ul>			

- ・手島課長：最終的には、川北、川南にそれぞれ1か所整備するのが理想的だが、まず1つ目として堆肥センター近辺を考えている。補助については、活用可能なものは利用するとともに、農協とも協議していきたい。補助がない場合は単費で対応の考えである。  
(参考：初期投資 3000万円 維持費 150万円/年額)
- ・齋藤委員：駆除員の配置は効果をあげているようだが、今後充実していく考えは。
- ・手島課長：現在8名を雇用し、交代で2名勤務としてる。2名を3名に増やしても効果はあまりないと考えるが、雇用者を10名程度に増やすことができれば、駆除員の負担も軽減でき、緊急時の応援体制も組みやすい。
- ・齋藤委員：電気柵設置助成について、購入費のほかに設置経費も対象としてほしいとの要望があるが、担当課のとしての考えは。
- ・手島課長：声として聞いてはいるが、それほど多くはない。作物により設置場所が変わることから、取り付け、撤去は農家で対応いただく手法から、変更の予定はない。
- ・齋藤委員：緩衝帯の整備には、継続的な下草刈りが必要であり経費が掛かるが、町としての対応方針は。
- ・手島課長：町有林であれば対応は可能。有害鳥獣対策として、必要であれば単費でも対応したい。民有林、河畔林については、管理者が異なることから難しい。
- ・常通委員長：侵入防止策の設置はどの程度のものと考えているのか。電気柵の補助はいつまで実施の考えか。
- ・手島課長：侵入防止策は、3か所(上美生、嵐山、10線13号)に、各3キロ程度のもを設置予定。電気柵の助成については、内容の一部変更はあるかもしれないが、今後も継続の考え。

#### イ 都市景観啓発・普及事業について 資料2

担当課より説明の後、質疑を受ける。

- ・正村委員：企画財政課で公共施設等総合管理計画が策定される予定である。計画の内容によっては、施設の統廃合も考えられるが、そこの関係は。
- ・佐藤補佐：既存施設の看板はそのまま利用する予定。更新時期には、今回策定する計画に沿った内容で更新することになるが、更新時期の判断は、公共サイン整備計画のなかに盛り込みたい。
- ・正村委員：27年度の実行計画策定中だが、今後の予算要求の考え方は。
- ・佐藤補佐：デザイン作成は委託の予定であり、平成27年度に委託料を計上する考え。
- ・正村委員：町民組織である夢プラン実現隊の位置づけは。
- ・佐藤補佐：計画策定は庁舎内検討会議で作成するが、町民の意見を取り入れるため意見交換を行う。
- ・小椋委員：景観行政団体への移行時期は。
- ・佐藤補佐：できるだけ早い時期と考えるが、時期は明示できない。

- ・齋藤委員：資料には、平成 27 年 4 月との記載だが、先ほどの答弁はあいまいなものだった。時期にはこだわらないが、しっかりとしたものにしていただきたい。
- ・高橋課長：条例の制定や計画の策定が必要であり、平成 27 年度の実施を目途に進めている。ご意見を参考に進めたい。

#### ウ 上水道事業施設整備基本計画策定業務について

資料 3

担当課より説明後、質疑を行う。

- ・正村委員：各ケースごとのコストはどの程度なのか。
- ・西川補佐：コストを求めるには、管をどうするか、浄水場を含めた施設の建設費、施設の維持費を含めた計算が必要であり、まだ試算できる段階にない。
- ・正村委員：新たな深井戸を設ける場合、どのあたりを想定しているのか。
- ・西川補佐：美生方面、現在休止中の 1～3 号井戸の周辺を考えている。
- ・正村委員：美生系は水質の問題があるが、新たな深井戸の水質は問題ないのか。
- ・西川補佐：現在の 1～3 号の水源は、浅井戸や伏流水を利用するものであり、深井戸を新設する場合は水源が異なるため問題ない。
- ・正村委員：検討ケースとして 5 パターンが示されているが、どうしてこの 5 つに絞られたのか、資料からはその理由が分からない。根拠の分かる資料を示してほしい。
- ・西川補佐：今回示した 5 パターンは、たくさんのケースから絞り込んだものではない。考えられる全ケースを示したもの。また、この 5 ケースに限定されるものではなく、新たなケースが選定される可能性もある。
- ・正村委員：各ケースの比較検討結果はいつ頃示されるのか。
- ・西川補佐：12 月ごろを予定している。
- ・柴田委員：水道の口径を変更する考えはあるのか。
- ・西川補佐：詳細の検討はこれからだが、人口推計でも大幅な減がみこまれないことから現在のところ変更の予定はない。

### 3 その他

(1) 次回委員会開催日程 正副一任

(2) その他

○ホットボイスの回答について

事務局より概要を説明し、対応を協議する。

→ 桜の捕植については、正副委員長で現状を確認することとし、回答（案）を委員会として了承。

以上をもって、閉会する。

傍聴者数	一般者	1名	報道関係者	0名	合計	1名
記載のとおり報告する。						
平成26年8月5日						
経済常任委員会委員長 常 通 直 人						